

6 | スプリングピン

スプリングピンの種類（特徴・使用上の注意点）

共通した特徴

- 薄板を円筒状に巻いて切り口を設けたもので、ピンの外径よりわずかに小さい穴径に挿入（圧入）することによって、穴の側面に内圧（ピンが広がろうとする力）が作用しピンが抜け出ないようにします。
- 中実ピンに比べて中空であるため重量軽減を図ることが出来ます。
- 位置決め、回転防止、抜け止めなどに使用されています。

TYPE 1

スプリングピン（一般用）



特徴

- 簡易締結、位置決めなどに使用されています。
- グリップ力で相手穴からの抜けを防止しています。
- せん断荷重を大きくしたい場合は、ダブルピンを使用してください。（アウターピンとインナーピンのせん断荷重を足した荷重となります。）

TYPE 2

スプリングピン（軽荷重用）



特徴

- スプリングピン（一般用）に比べ、挿入力が小さくなります。
- 製品のカラミ防止のために開口部が波形になっています。
- 主として、樹脂関係（一般用では相手物が割れてしまうもの）のヒンジやせん断荷重の小さい箇所に使用します。

使用上の注意点

穴に挿入した状態で相手物を繰り返し回転させるとピンが抜け出ることがあります。